

「ふくろい遠州花火川柳」入選作品発表 2017年8月31日(木)12:40放送

SBS ラジオ「鉄崎幹人の WASABI」「ふくろい遠州花火川柳」:応募数 951 句(昨年 96 句)
静岡県川柳協会 会長今田久帆(いまだ・きゅうはん)氏 選考

最優秀賞

大阪府泉南群熊取町

「花火見て 少女に戻る 祖母の顔」

〔講評&鉄崎さんの感想〕 花火には人を童心に戻し、音と光の造形が人を優しくしてくれます。祖母と連れ立って行った花火で、大花火が映し出す祖母に目をやると、いつの間にか祖母の顔が少女に戻っていました。祖母と少女を対比しながら変化する祖母の心境をうまく捉えています。

優秀賞

ミルクみかん さんの作品(袋井市)

「夜空染め おちる花びら 手を伸ばし」

〔講評&鉄崎さんの感想〕 花火の華やかさと儚さが臨場感をもって描かれ、自分が会場の真ん中にいるような思いにさせてくれます。

優秀賞

中野弘樹さん(71 歳) の作品(春日部市)

「窓を開け ベッドの母に 花火見せ」

〔講評&鉄崎さんの感想〕 花火がぱっと開いた後から追いかけてくる音が病気の母をやさしく励ましているようで母を思う気持ちに溢れています。

優秀賞

渡会克男さん(67 歳) の作品(柏市)

「絵日記に 満開孫の 大花火」

〔講評&鉄崎さんの感想〕 その時だけでなく、時間の経過をうまく描き込み、思い出となった気持ちがうまく表現されています。

花火実行委員会特別賞

千田康治さん(56 歳)の作品(石巻市)

「大輪の 下で融けゆく かき氷」

〔講評&鉄崎さんの感想〕 次々と打ち上がる花火と、花火の変化していく美しさに引き込まれ、かき氷が溶けていくことさえ忘れてしまう。その様子が、かき氷の変化の中に描き出されています。